

# 種子島

種子島産婦人科医院

## 06.「四季に合わせて暮らす」

### 武田 あつみ

Takeda Atsumi



「武田さんの暮らし」の動画はこちら

#### profile

栃木県出身。2018年に種子島へ移住後、自身の出産を機に助産院を開業。産婦人科との連携の重要性を感じ、種子島産婦人科に勤める。勤務歴1年。(産婦人科通算勤務歴8年)

週末はお気に入りの浜辺をビーチクリーン

#### やはりお産に関わりたい

神奈川から種子島に移住し、病院で派遣看護師として働いていたのですが、自分が出産してからは、やはりお産に関わりたいと思うようになり、産休育休中にベビーマッサージの資格を取りました。育休後も病院で働いていましたが、やっぱり助産師をやりたいと思って、ベビーマッサージや授乳の相談をメインにした助産院を島で開業しました。産婦人科と連携が取れたほうが良いと思って、島内唯一の産婦人科で働き始めた感じです。

#### 特別な時期に関わらせていただく

私はほんとに赤ちゃんが好きで、赤ちゃんの期間って人生でもすごく特別な時期ですよね。妊娠というの人もよっては人生一回しかなかったりとか、すごく特別な時期だと思います。そこに関わらせていただけることは、すごく幸せなことだと毎回思っています。



仕事への想いを笑顔で話す武田さん

#### 精一杯向き合う

神奈川にいた時は、近くに紹介できる施設はたくさんあったので、安心感もありながら働いていました。

種子島で働くようになってから、自分たちで精一杯向き合っていく必要があるなと感じ、自分の知識技術をもっと向上させたいと思うようになりました。島に来てからたくさん研修にも参加するようになりました。本土に渡る渡航費もかかるし、もっと勉強してから来れば良かったと思う時もありますが、

働いていると、「出会えて良かった。」と言ってもらえることがあります。今の自分のできる精一杯が、誰かにとってそんな風にしていただけたらいいなと思うし、いつも一生懸命関わっていたら、その想いは届くのだと気づきました。そんな姿勢でこれからもやっていきたいと思っています。



生まれたての赤ちゃんのお世話

#### 不便は感じない

一回も種子島に来たことがない中で移住したので、事前にマップで見て、お店をチェックしていました。今はネット通販もあるので、引っ越ししてみたら全然問題はなかったですね。

#### 四季に合わせて暮らす

島で暮らしていると、自然と共に暮らしているんだなと感じます。天候によって予定が変わったりとか、夏は日が長いから夕方までみんなでサーフィンするけど、冬は暗くなるのが早いので、家に早く帰って、子どもとゆっくり過ごしたりとか、季節によって過ごし方が変わります。

また、島に来てからは旬の食材を沢山頂いたり、食卓が自然と旬のものになったり、四季に合わせて暮らしているなと感じています。健康的な暮らしになったなと思うし、天気のことにも気がするようになりましたね。



赤ちゃんにミルクをあげる様子



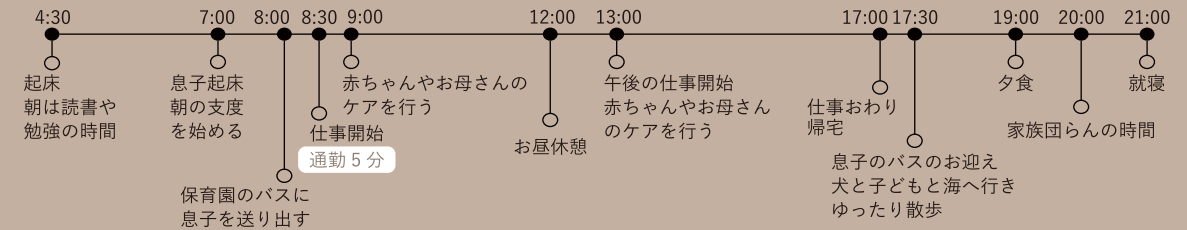
生まれたての赤ちゃんの手



赤ちゃんのケアをする部屋

自宅で行うベビーマッサージ教室

#### 武田さんのとある一日



#### 通勤時間2時間が5分に

都会で暮らしていた頃は、職場までの通勤時間は片道2時間でしたが、島に引っ越してから5分になりました。出産前は朝5時に起きてサーフィンに行ってから仕事、また17時に仕事が終わったら海に行く。そんな時間の使い方ができたんですよ。今はその時間、子どもと犬と海に行き遊んだり、沈む夕日を見てぼーっとしたりとか、家族で行く時はビールを持って行ったりとかしています。そんな豊かな時間は今までなかったので、すごく幸せだなと思います。

#### 種子島が繋いでくれたご縁

島の人は、昔から知ってたかのように接してくれたり、いろんな人を繋げてくれます。島に来て7年目くらいになるんですけど、都会に住んでいた時とは比べ物にならないくらい人脈という繋がりがありました。人生において大切にしたい、これから先もお付き合いしていくんだらうなと思う人は、この島で出会った人が多く、種子島が繋いでくれたご縁がたくさんありますね。



種子島産婦人科医院  
院長 鳥巣弘道

#### 島を出る度に島の良さを感じる

年に数回は島から出て関東に行きますが、見渡す限り建物で、島にいる時には、無意識にしっかりと空や太陽を見ていたんだなって思います。

#### 今の自分を満たしてくれるもの

島に来て最初の頃は、お店のハンバーガーやドーナツ、ラーメンも、、、と欲しかったけど、今の自分を満たしてくれるのはそこではなくりました。島を出る度に、早く海辺を散歩したいとか、陽を浴びたいか思いながら帰ってきます。

#### いつでも誰でも来られる場所づくり

いつか助産院を建てて、お産もできたり、産後もそこで過ごせたり、妊婦さんも遊びに来ることができたり、また、赤ちゃんが中学生になって自分の体に悩みがある時気軽に立ち寄れたり、ここに来れば安心して暮らしができる、妊娠生活が送れるというような、誰もが気楽に来られる場所をつくりたいです。そして、リースクールみたいに、乳幼児と触れ合うのが好きな学生が、一緒に赤ちゃんのお世話をしてくれたりとか、分け隔てなく、皆に開いた場所になりたいです。

#### 先輩からひとこと

安心して妊娠出産、そして子育てのスタートができるための病院でありたいと思います。そのことが種子島の人口増加に繋がれば、島全体でできることが増え、未来への可能性が開けていくと思います。その最初の場面を支える役割と責任が僕たちにはあると思っています。医療従事者にとって、知識や技術を身につけることはもちろん大事です。そして、離島で医療に携わることの魅力は、人と深く繋がる環境に身を置くことで、自然に人間味が備わってくることです。医療を学ぶ学生にとって、大切なことを身に付けられる最高のフィールドになるのではないかと思います。

#### 種子島産婦人科医院

##### 施設概要

種子島産婦人科医院は2008年に種子島の一市二町の思いを受けて設立されました。島で唯一の産婦人科であることの責任を自覚し、受診された患者様に「受診してよかった。安心した。」と言っていただけの医療を行っていききたいと思います。

##### 所在地・連絡先

〒891-3101  
鹿児島県西之表市西之表 16314-7  
tel:0997-22-0260  
fax:0997-23-2281

